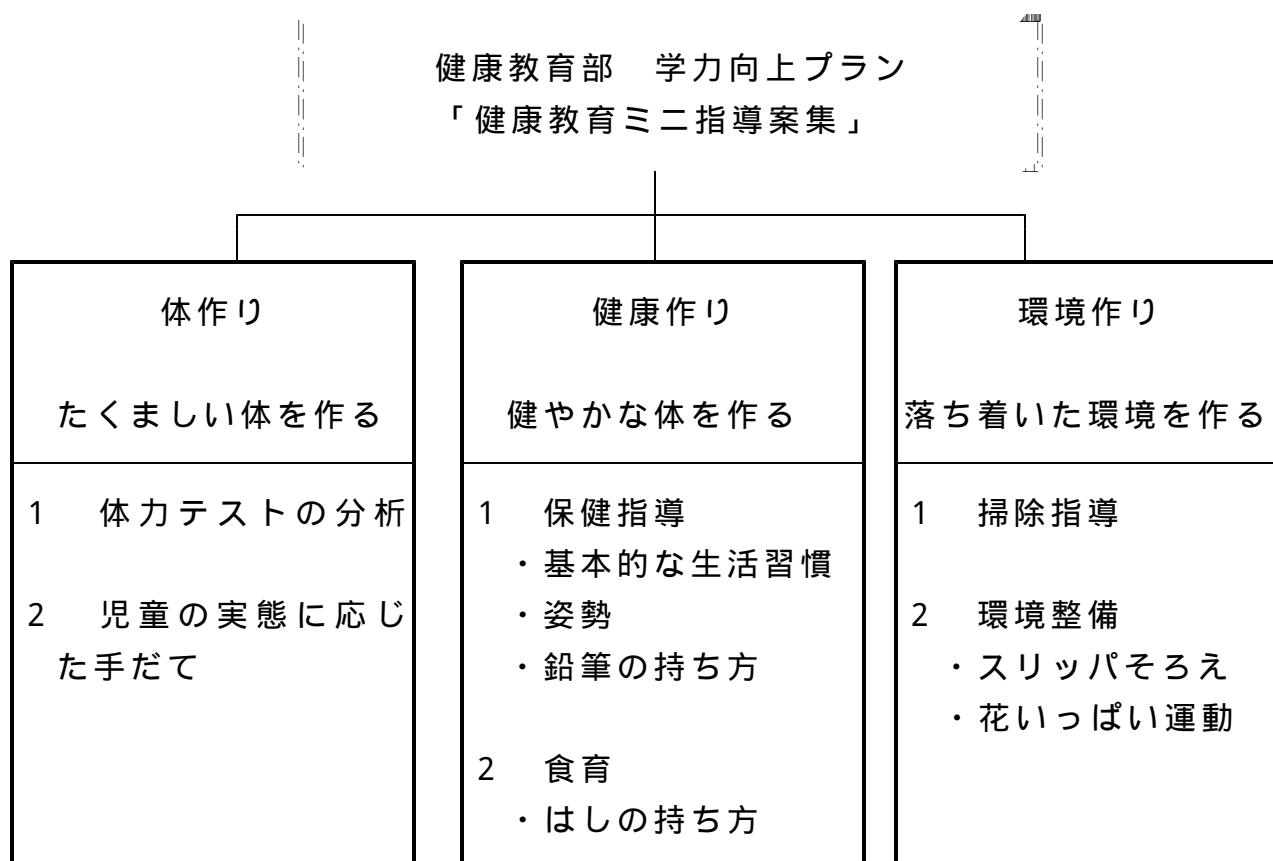


3 健康教育部

(1) 取組の概要

健康教育部では、児童の学力を高めるために、体作り・健康作り・環境作りが重要であると考えた。

そこで、この3つの視点から、指導の手引き「健康教育ミニ指導案集」を作ることにした。



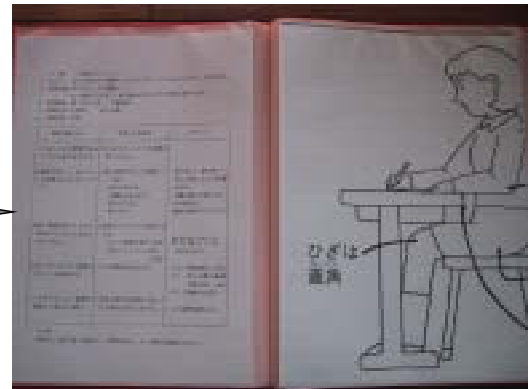
(2) 取組の経過

第1回部会	7月26日(木)	全体構想と作成計画の立案
各分担で作成		
第2回部会	8月27日(月)	指導案と資料検討
第3回部会	10月12日(金)	指導案と資料検討
第4回部会	10月20日(火)	指導案完成、確認
印刷・製本・ファイル作成		
校内研修で説明	11月28日(水)	
各担任で活用		
第5回部会	1月30日(水)	研修のあゆみ原稿検討
第6回部会	2月下旬	今年度の反省と来年度の計画

(3) 健康教育ミニ指導案集の内容

主 題
(1) 規則正しい生活を心がけよう
(2) 新体力テストの結果をふりかえろう
(3) 姿勢をよくしよう
(4) 正しい鉛筆の持ち方を身に付けよう
(5) はしを上手に使って食べよう
(6) スリッパをそろえよう
(7) きれいな学校にしよう
(8) 花を大切にしよう

内容の一部



左ページ
手引き

右ページ
指導資料

(4) 健康教育ミニ指導案集の活用に当たって

朝・帰りの会や教科・道徳・総合・学級活動等の短時間(5分~15分程度)を使って、指導する際の手引きとして活用する。

手引きは指導の一例として、児童の実態や担任の方針に応じて、柔軟に変更することができる。

手引きと指導資料は、見開きの形で袋ファイルに入っている。左ページに手引き、右ページに指導資料の白黒コピーとなっている。(複数枚納められているものもある。)

* カラー原本は、印刷室に保管。

活用後、評価用紙に記入する。年度末にまとめ、来年度修正付加する。

* 2月上旬までに、担当へ提出。

(5) 取組を振り返って

健康教育を推進するにはいろいろな視点があるが、具体的な内容に絞った。焦点化したので、研修に取り組みやすかった。

それぞれの校務分掌の立場から、指導方法や資料等についてまとめることは初めてだったので、とても新鮮であった。

研修を重ねる中で、学力の基本は健康教育にあることを再認識した。

活用後の評価をもとに更に改善し、来年度よりよいものを作りたい。

それぞれの専門的な知識や経験を生かして、ポイントを示すことができた。その結果、健康教育に対する教職員の意識が高まり、児童の変容が見られるようになったのがうれしいことである。